

平成23年上半期における長野県下の労働災害発生状況について ～ 製造業・運輸業が2年連続で増加（速報値）～

概要

（1）死傷災害（休業4日以上 of 災害）

全産業で798人で前年同期に比べ19人の減少（-2.3%）となった。

業種別では、「鉱業」0人（前年同期比 100%）、「建設業」121人（同 6.9%）、「林業」31人（同 6.1%）、「その他の業種（卸小売、保健衛生業等）」352人（同 4.1%）は前年に比べ減少したが、「製造業」217人（同+1.4%）、「運輸業」77人（同+8.5%）は増加した。

事故の型別では、「転倒」が222人（構成比27.8%）、「墜落・転落」が134人（同16.8%）、「はさまれ・巻き込まれ」が108人（同13.5%）の順であり、これら3つの型で半数を超えている。

（2）死亡災害

全産業で3人となり、前年同期に比べ8人の減少（-72.7%）となった。

業種別では、建設業で2人、製造業で1人死亡した。

事故の型別では、「崩壊・倒壊」、「激突され」、「はさまれ・巻き込まれ」が各1人となっている。

図 1 過去 3 か年間の上半期労働災害の推移

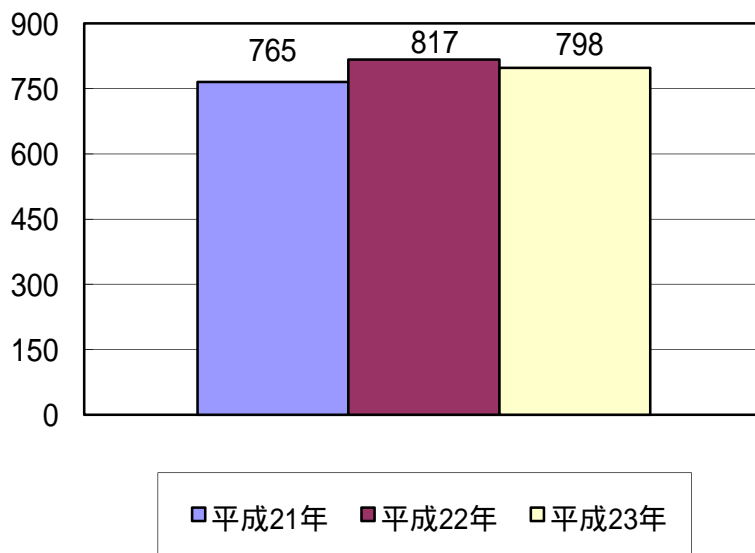


図 2 業種別死傷災害の発生状況（各年上半期分）

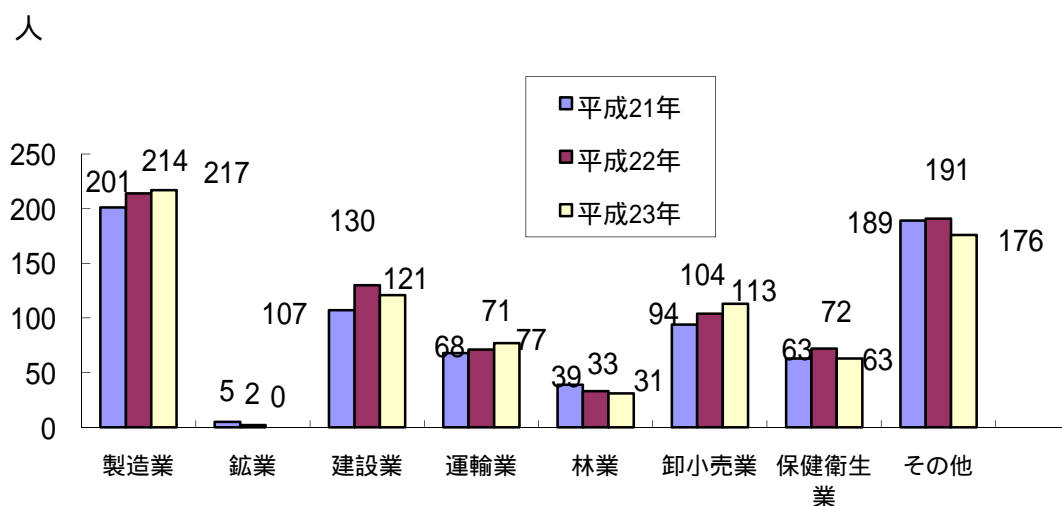


図 3 死傷災害の事故の型別構成

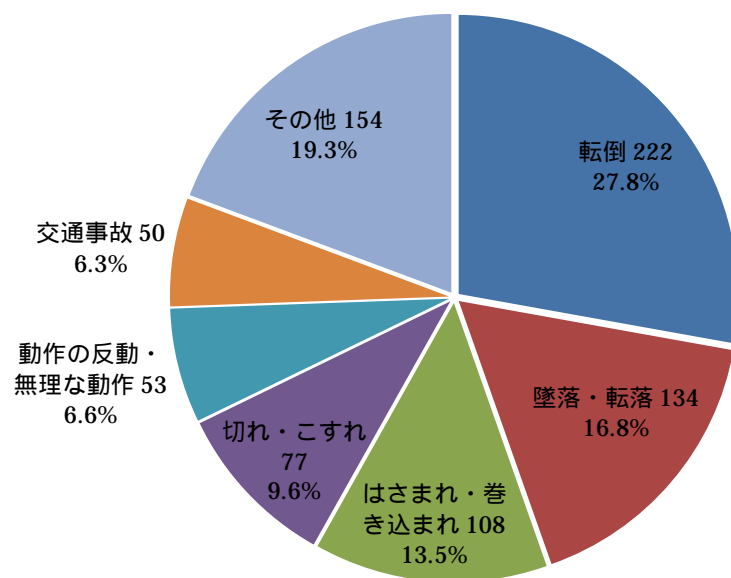


図 4 業種別死亡災害の発生状況（各年上半期分）

